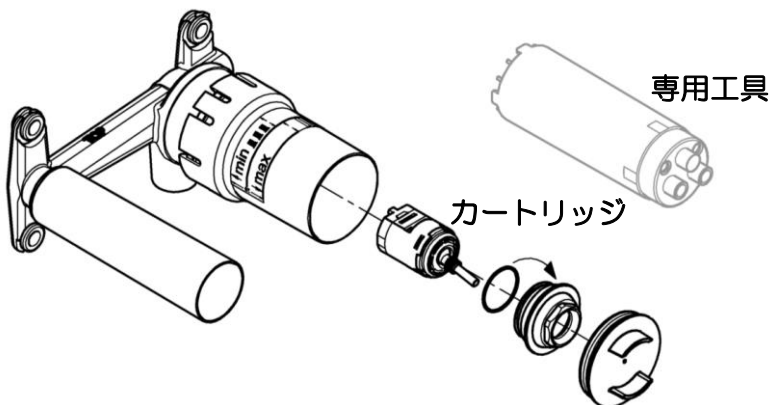
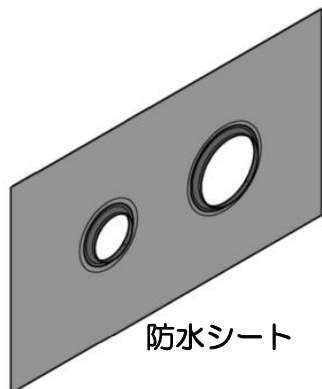
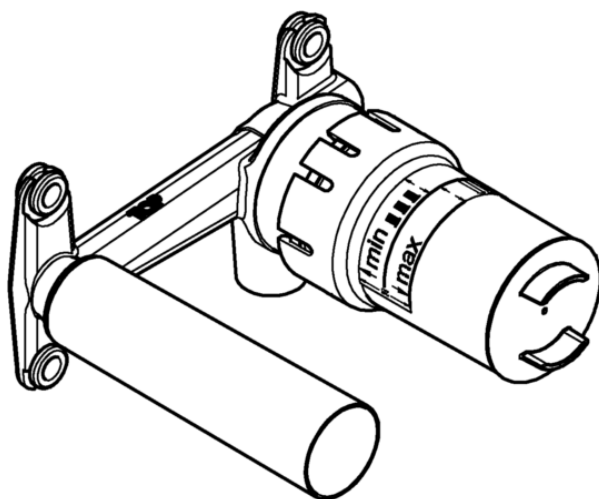


## ジョイスティック壁出洗面混合栓 埋込本体部 据付説明書 (お客様にお渡しください)

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともにお客様に使用方法を説明してください。
- 施工完了後は、この説明書をお客様にお渡しください。

※欠品、キズ等が無いかわ据付前に必ず確認してください。万一欠品、キズ等があった場合はご購入先へ早めのご連絡をお願いいたします。



## 安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### ⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## 使用条件

### ●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.1MPa[1kgf/cm<sup>2</sup>](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm<sup>2</sup>](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm<sup>2</sup>]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

## 据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

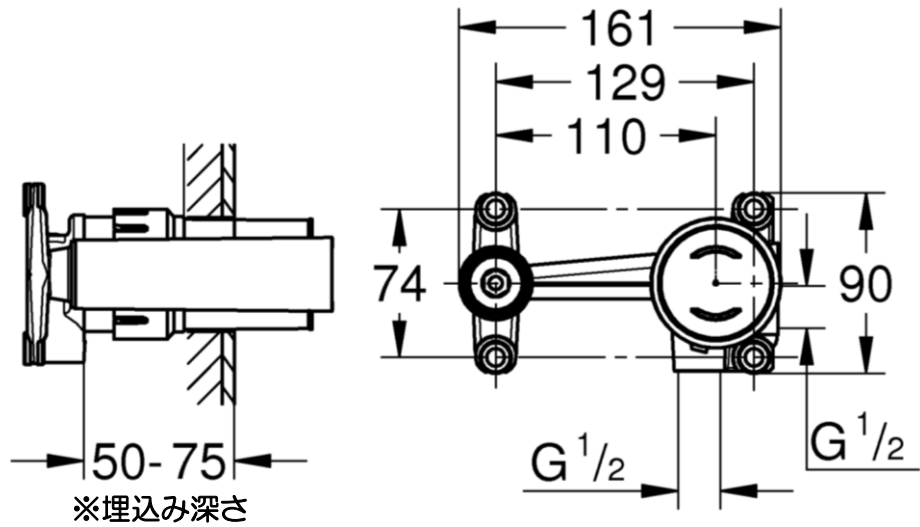
●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●本体を確実に固定する為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●接続ネジは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2、R1/2)には使用しないでください。

# 施工準備

## 埋込寸法と製品寸法



### 注意

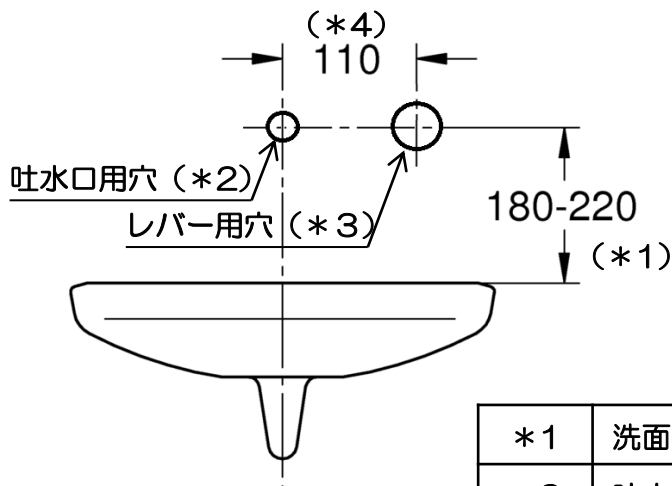
化粧カバー設置の際、壁面に隙間が出来たり取付けが困難になります。  
 ・本体は水平、仕上げ面に対して垂直に取付けてください。

### ポイント

・接続ねじはG1/2です。  
 テーパーねじを使用する場合は、市販のアダプター(ザルボ等)をご用意ください。  
 ・本体の固定には4カ所の取付穴を利用してください。  
 湯水配管がしっかり固定されていれば、特に固定の強制はしませんが配管に負担になる場合、本体がグラツクようでしたら固定を行なってください。  
 固定用ボルトは付属していません。施工の際は予めご用意ください。

## 洗面器との寸法について

壁への穴あけは下記寸法を厳守してください。

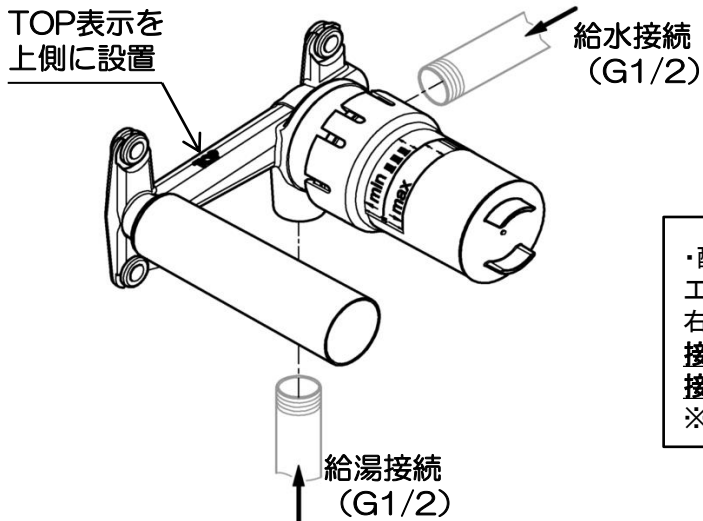


*1	洗面器上部から穴中心距離	180mm~220mm
*2	吐水口用穴	φ37~φ45
*3	レバー用穴	φ57~φ60
*4	穴あけピッチ	110mm

# 施工手順

## 給水・給湯管接続について

本製品は壁の内部に設置し、給水・給湯管に接続してご使用ください。  
接続の際は、必ず下側に給湯管、右に給水管を接続してください。



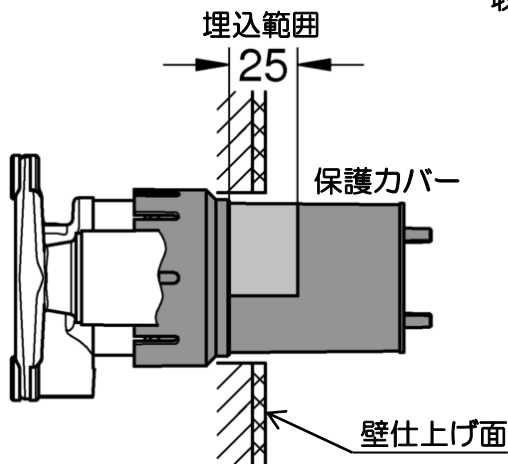
### 注意

・配管ネジ部にシール剤(シールテープ)等を使用し、工具(パイプレンチ等)で本体の給湯口、給水口に右回しにねじ込んでください。  
接続の際は、必ず下側に給湯管、右に給水管を接続してください。  
※湯水が逆に出てやけどをする恐れがあります。

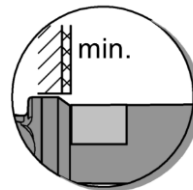
## 埋込み深さの確認

設置前・設置後に必ず設置深さが適切かどうか確認してください。

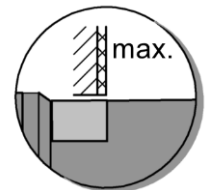
壁仕上げ面が保護カバーの埋込範囲(表示シール)に収まるよう確認・調整してください。



### 注意



(埋込寸法最小時)



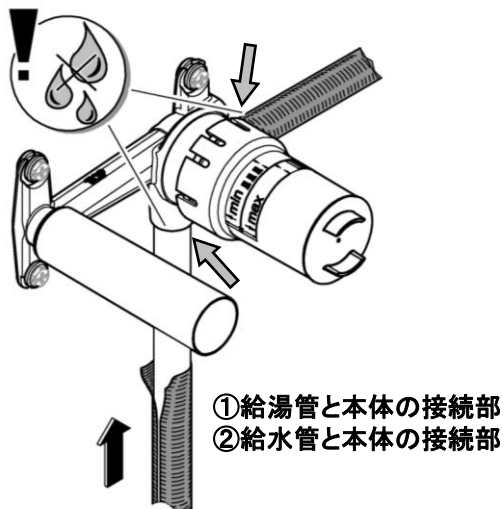
(埋込寸法最大時)

本体の埋め込みは規定寸法を守ってください。  
埋込範囲寸法が守られていない場合、壁面に隙間があいたり、化粧部が取り付けられなくなります。

## 施工後の確認

### 設置後の確認

本製品を設置後は、必ず湯水のバルブをあけて吐水・止水を繰り返し接続部に漏水がないかご確認ください。

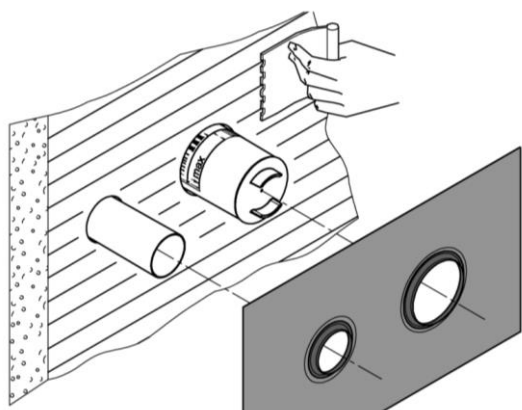


#### 注意

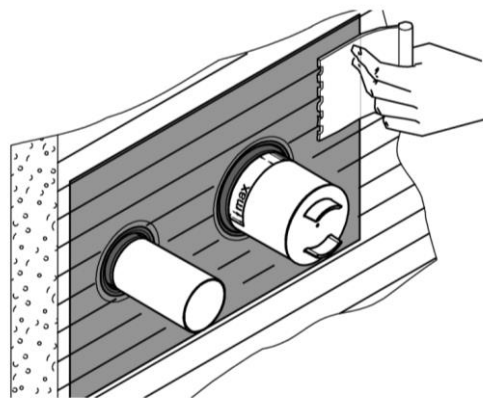
通水後漏水の無いことを必ず確認して下さい。

### 防水シートの使用法

壁仕上げ面の下地に同梱の防水シートを貼り付けます。



壁の仕上げ面の処理をします。



#### 注意

防水シートを使用しない場合は、コーキング等で防水してください。

#### 注意

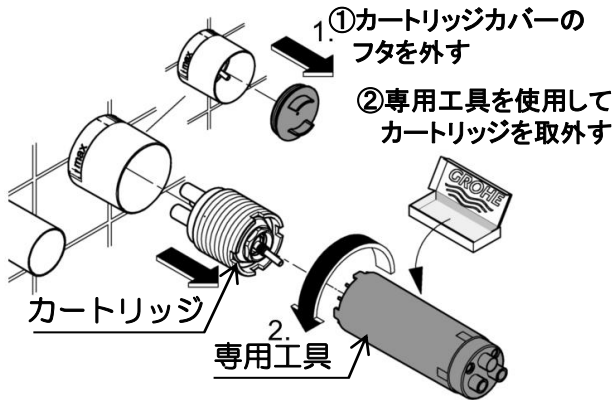
化粧部の取り付け方法は、化粧部の施工説明書を確認してください。

# フラッシング

施工後は必ず以下手順でフラッシングを行って、配管内のゴミ等を流してください

## フラッシング手順

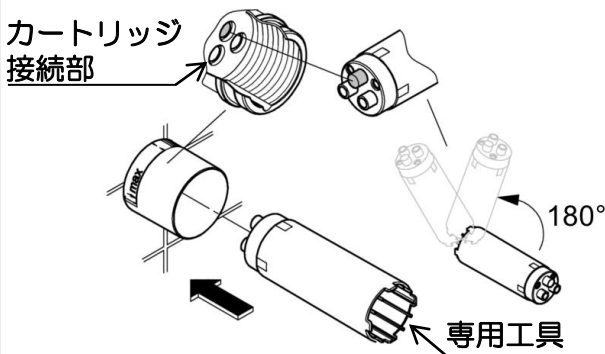
1. 専用工具を使用し、カートリッジを外します。



### 注意

取外したフタとカートリッジは紛失・破損の無いようご注意ください。

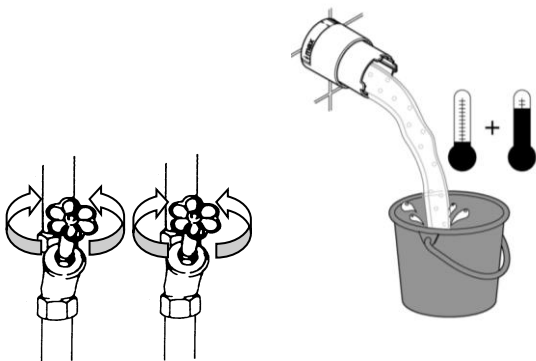
2. 専用工具を裏返し、カートリッジ接続部に取付けます。



### 注意

カートリッジ接続部と専用工具の凹凸形状をよく確認し、しっかりと奥まで差し込みます。

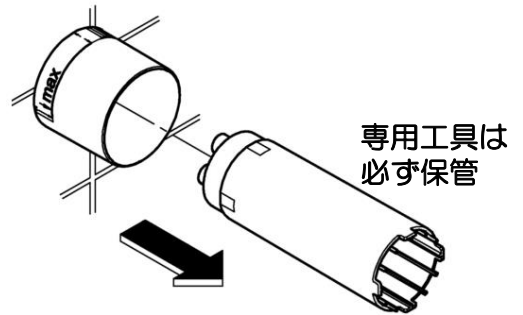
3. 湯側・水側両方の止水栓を開放し、配管内のゴミを流します。



### 注意

現場にてバケツ等をご用意ください。  
家財等を濡らさないようご注意ください。

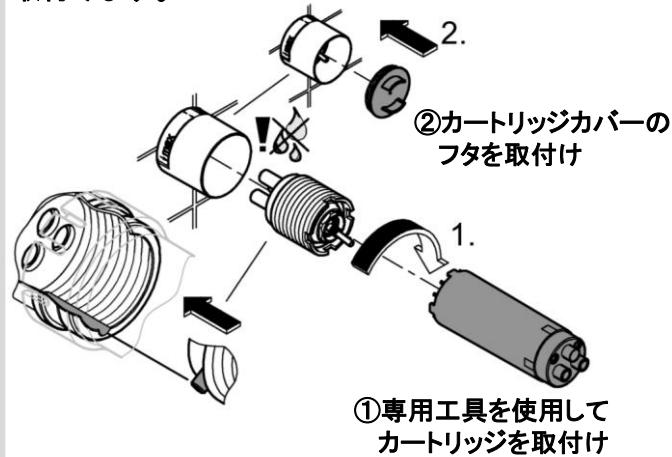
4. カートリッジ接続部から専用工具を取り外します。



### 注意

専用工具は化粧部の施工時やメンテナンス時にも使用しますので、大切に保管してください。

5. 専用工具を使用してカートリッジを取付け漏水の無いことを確認し、カートリッジカバーのフタを取付けます。

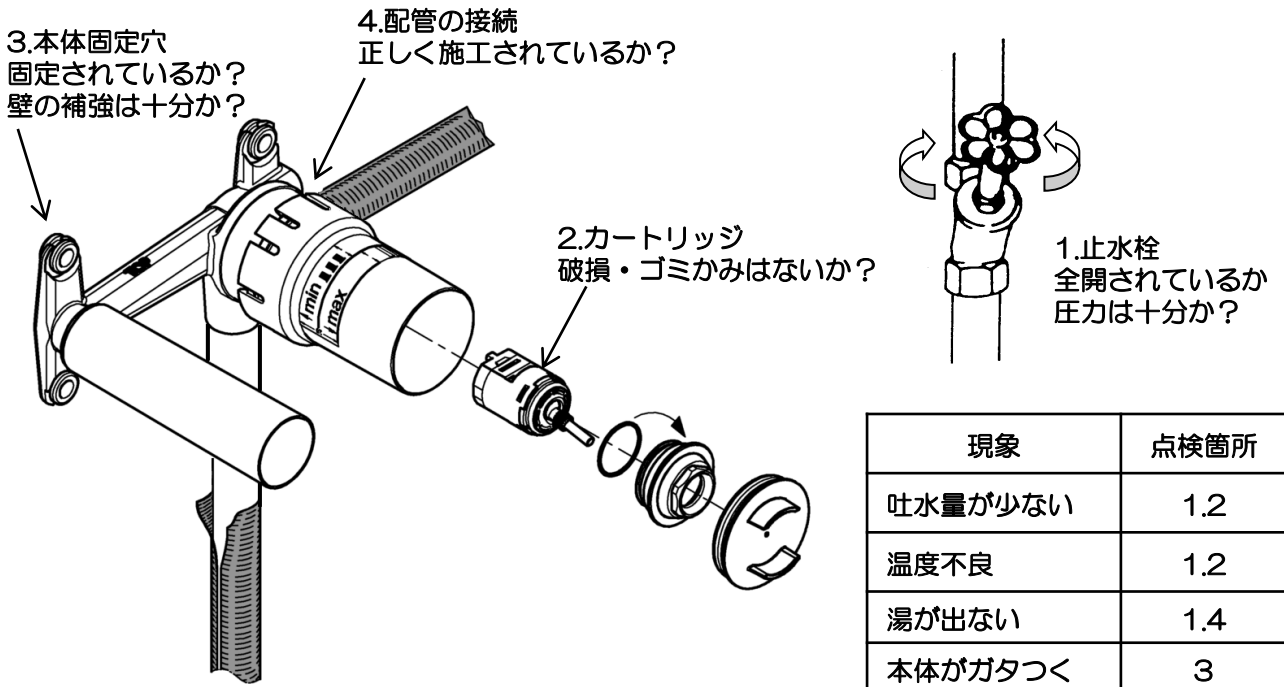


### 注意

・カートリッジは本体内部の形状とカートリッジの凸部が合うように取付けます。  
・本体内部から漏水が無いことを確認します。

## 故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



### 2ハンドル壁出洗面混合栓 埋込本体部

品質確認実施工場	株式会社LIXIL 半田工場
認証登録番号	C-87
特記事項	寒冷地用（耐寒性能適合品）「寒・逆止なし」

**グローエジャパン株式会社**

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>